

新庁舎建設予算承認 工事着工開始



7/16（第4回）、8/6（第5回）、8/23（第6回）に、大津町議会臨時会を開きました。

議案および議決の状況は一覧表の通りです。また第5回の臨時議会では文教厚生常任委員会から教育・保育施設の改修等に関する発議があり、委員長への質疑応答後、賛成多数で可決しました。

議案一覧表

第4回臨時会	令和元年度大津町工業用水道事業会計補正予算（第2号）について
第5回臨時会	総合交流ターミナル施設等解体工事請負契約の締結について
第5回臨時会	大津小学校校区学童保育施設建築工事請負契約の締結について
第5回臨時会	町道美咲野大津線（鶴口橋）橋梁架替工事請負契約の締結について
第6回臨時会	大津町新庁舎建設工事請負契約の締結について

議員の賛否を公開します

上程された議案			桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚龍 一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本富 二夫	山部 良二	三宮 美香	賛成 （○）	反対 （●）
第4回臨時会	議案 第41号	町長等の給料に関する条例の制定	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	14	1
第5回臨時会	発議 第1号	教育・保育施設の改修等による環境整備及び維持管理に関する決議	—	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会

検索

詳細は
こちら



大津町議会HP会議録

町長等の給料に関する条例の制定

質疑

不適切な事務処理に対し、もちろん町長が任命権者であり責任は町長にある。しかし、今回は町が損失を被ったものではなく、事務上の当事者の能力不足によるものが大きく、悪意があつて起こったものではないように感じる。再び起こっては困るが、ここまでする必要があるのかという疑義もある。

任命された時点で責任はその職員が負うもので、町長や副町長、上司が責任を負うならば切りがないのではないかと。

答弁

我々としては適切な事務処理をしていなかったことについては、見方によっては悪質だと考えている。

たまたま本人が立て替えたことだが、やはり法的にはやってはいけないことであり、部長はじめ、責任者として今後不適切な事務、あるいはその他の問題も起きないように取り組み、責任もとらなければならない。

教育・保育施設の改修等による環境整備及び維持管理に関する決議

質疑

市町村の長は住民が直接選ぶという意味で大統領制である。この委員会発議をするにあたって委員会に町長を招集し、十分な議論を尽くしたのか。筋道としては、発議の前に町長を招集して、部下ではなく長と議論すべきではなかったか。

答弁

町長には委員会への出席は求めているが、十分な議論・審議という意味では少なくとも平成25年から何度も議論している。その度に計画を策定する、実行するということを何度も言われ、十分に再三繰り返ししたが、それでも進まない。

基本的には教育委員会は教育行政に関する権限を持っている。長を呼ぶべきだという考え方は確かにあると思うが、教育長と副町長が出席しており、そこを信頼するという考え方もできる。

特集

尚絅大学生によるレポート18

議員のイメージが大きく変わった

2年 畑野 萌

今回の意見交換会に参加していくつか学んだことがあります。

1つ目に掛け持ちで仕事をしている方がいらっしやり、掛け持ちで議員ができることは新たな発見でした。

また、議員は高額な報酬をもらっているイメージがありましたが、町議員はそこまでなく、更に政務活動費を自分で出すとのこと、とても苦勞するのだろうと感じました。大きい市の議員や県議会議員などは十分な報酬が支給され、政務活動費も別で出ることが多いということで、格差をなくせるような体制が必要だと感じました。

2つ目にまだまだ女性議員がいない問題を改めて認識しました。最近女性議員を取り上げるニュースがあるので

少しずつ増えていると思っていましたが、大津町は女性が1人ということに驚きました。

女性ならではの目線のアイデアや、女性にしか気付かない点も沢山あると思うので、議員にはなれずとも積極的に政治に関わっていったらと思います。女性1人で議員を続けて、しっかりと信念を持っている姿勢にも感銘を受けました。

10月15日(火)に、大津町議会の広報委員5名と尚絅大学現代文化学部 of 学生とで意見交換会を行いました！

女性の政治参画が社会にも必要

2年 猪本 妃依

大津町議会の方々の話を聞いて、私は地元へ貢献することの大切さを知らされました。

私の地元は熊本市で、どうしても熊本をよくしてくれているのは県議会という印象が強く、熊本を代表してくれているのも県知事だと思ってしまいましたが、住民に一番寄り添って物事を動かしてくれるのは、そうではない町や市を代表する議会の方々なのだと気付きました。

また、政治は男社会ということを女性の議員が訴えていましたが、私もそう考えます。前に議会に赤ちゃんを連れて入り、一時議会が中断したというニュースを見ました。赤ちゃんを連れるだけで何が悪いのか分かりませんでした。議会は男しかいないのは今までの風習だっただけで、女性が参画しな

いことが普通じゃなく異常だと認められる世の中であってほしいです。そうすると社会全体が女性の社会進出に何も不自由なく暮らせる方向に進むと思います。

